

事故現場までの道順（徒歩）

- ・ 広濟寺から南方に 300m ほど歩けば、名神高速道路に沿った山手幹線（五車線の幅の広い道路）に出ます。
- ・ 山手幹線を渡らずに、山手幹線に沿って西へ（福知山線陸橋の方向）へ 400m ほど歩くと、JR 福知山線に突き当たり歩道橋があります。
- ・ 歩道橋を渡り、線路に沿って南に 200m 歩くと事故現場。



参加寺院名簿

埼玉県	深谷市	圓受院	田島 辨正師	しょうみょうし	(声明師)
神奈川県	横浜市	妙香寺内	清水 文隆師		
静岡県	浜松市	妙恩寺内	山澤 英伸師		
愛知県	名古屋市	光耀寺	大原 廣昭師	りゅうてき	(声明師)【龍笛】
大阪府	大阪市	妙寿寺内	藤田 恵玄師		
大阪府	高槻市	広宣寺	長谷川 鳳秀師		(声明師)
岡山県	岡山市	妙林寺内	小埜 栄輝師		
広島県	広島市	本覚寺内	渡部 公友師		(声明師)
兵庫県	神戸市	行守寺	清水 教信師		
	神戸市	護国寺	川口 久雄師		
	神戸市	妙栄教会	清水 能隆師		
	神戸市	妙法華院内	新間 智孝師		
	神戸市	大圓寺内	平井 智裕師		
	神戸市	本壽寺内	小平 晋慈師		
	尼崎市	長遠寺	池田 博英師		(声明師)
	尼崎市	妙隆寺	辰巳 日宏師		(声明師)
	尼崎市	妙昌寺	村尾 雄志師		
	伊丹市	妙興寺	倉橋 觀隆師		
	宝塚市	安国寺	川添 裕照師		
	宝塚市	天光院	辻田 觀諦師		(声明師)
	明石市	本松寺	釋 孝修師		
	丹波市	番守寺	武田 隆遠師		
	西宮市	妙宏結社	中橋 妙真師		
広濟寺スタッフ		住職	石伏 叡齋		(声明師)
		演奏依頼	木村 顕祥師		【笙】
		山務員	古志 彰啓師		
			川口 智靈師	(京都市 瑞光寺内)	< 順不同、4/22 現在 >

J R 福知山線列車事故一周忌法要

日時 平成 18 年 4 月 21 日午後 2 時より
場所 久々知山 広濟寺

御案内

寺院 本堂に向かって左側の玄関から入り、控室へお進み下さい

御遺族 本堂正面より入り、右奥に着座下さい。

(関係者)

一般参列者・広濟寺檀信徒
本堂正面より入り、本堂後方に着座下さい。

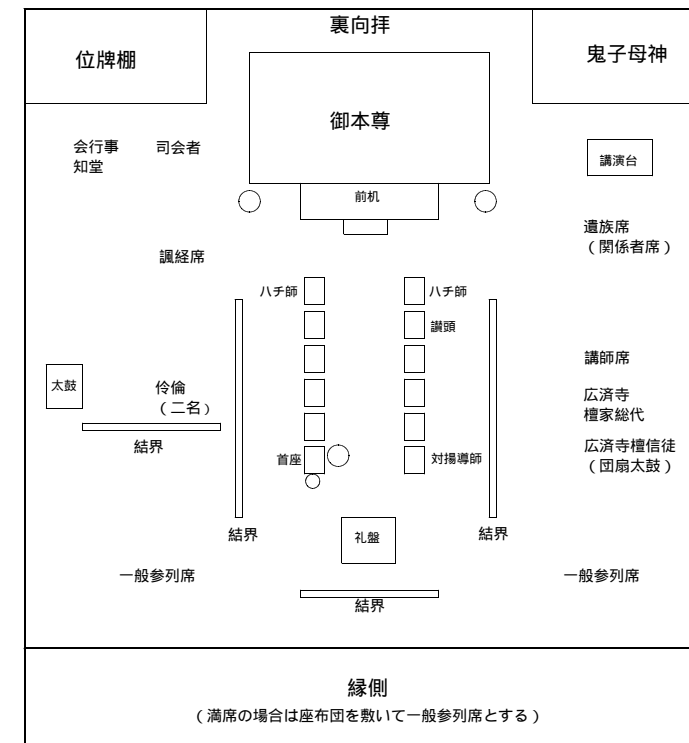
報道の方へ 下記の配慮をお願い致します。

御遺族の心情への配慮 厳粛な法要進行への配慮

トイレ 本堂正面に向かって左側の廊下、山門脇にあります。

本堂内は禁煙、法要中は携帯電話をマナーモードにしてください。

迷惑駐車禁止 広濟寺近隣に運送会社があり大型車も通ります。駐車場満車の場合は関西スーパーかコープのコインパーキングに駐車して下さい。徒歩 5 分ほどです。



法要の報告は <http://www.kosaiji.org/archive/20060424/> にて配信予定
広濟寺 〒 661-0977 兵庫県尼崎市久々知 1-3-27 <http://www.kosaiji.org/> post@kosaiji.org

《法要の御感想、来年の三回忌の要望・提案などありましたらお寄せ下さい》

式次第

第一鐘 二回目の鐘がなれば本堂に集まり着座して下さい。

第二鐘 二回目の鐘がなれば法要が始まります。

初、昇堂太鼓

次、師衆入堂 笙・龍笛の演奏とともに式衆が昇堂します。

次、開式の辞

次、道場偈 **【声 明】**

我此道場如帝珠 十方三宝影現中 我身影現三宝前 頭面撰足帰命礼

我が此の道場は帝珠の如し。十方の三宝影現する中に、我が身三宝の前に影現せん。頭面を足に撰して帰命し礼せん。

<意味> 諸仏を道場に勧請し、五体倒地・頂足して帰依を誓います。

<出典> 天台大師『法華三昧懺儀』

次、三宝礼 **【声 明】**

一心敬礼十方一切常住仏 一心敬礼十方一切常住法 一心敬礼十方一切常住僧

<意味> 起居礼をして、三宝（仏法僧）を心から敬う。

<出典> 『法華懺法』総礼三宝

次、勸請

仏菩薩が道場（本堂）に來臨することを勧め請い、法要趣旨を述べます。

次、開經偈

読經の前に拝読する、遣いがたい仏法の教えを拝読する有り難さを説く文言。

次、読經

『妙法蓮華經方便品第二』の冒頭部分を読む。

衆生を一人残らず成仏させる平等な法門（一念三千）が説かれる。

次、咒讚 **【声 明】**

阿檀地 仏馱波鞞禰 薩婆陀羅尼 阿婆多尼

<意味> 梵語（サンスクリット）の神咒を唱えて仏徳を讃嘆、善行を誓う。

<出典> 『妙法蓮華經普賢菩薩勸発品第二十八』

次、対揚 **【声 明】**

南無久遠実成一乗教主釈迦尊 多宝分身 證誠講演

誠敬 （法要趣旨の言上）

坐宝蓮華 成等正覚 天下法界 平等利益 所願成弁 上行菩薩

<意味> 三宝の徳を褒め称えて、法要趣旨（犠牲者追善）の成就を願う。

次、奏楽

龍笛、笙による演奏を奉納。

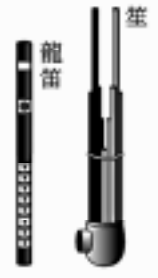
次、追悼の辞

木下廣史氏（御遺族）

次、読經 （焼香）

『妙法蓮華經如來壽量品第十六』の偈頌を読む。

お釈迦様の救済の永遠性を説き、そのことを信仰する大切さを説く。



次、祖訓 本尊抄（天晴地明）

日蓮聖人の代表作『如來滅後五五百歳始觀心本尊抄』（真蹟は国宝）の巻末部分。

次、唱題

次、宝塔偈

『妙法蓮華經見宝塔品第十一』の偈頌の最後の部分。

法華經を持つことは難しいが、それ故に持つことが意義深いことを説く。

次、回向

法要の功德を法要趣旨（犠牲者の追善供養）に手向ける文言。

次、四誓

衆生無辺誓願度、煩惱無数誓願断、法門無尽誓願知、仏道無上誓願成

遍く衆生を度し、無数の煩惱を制し、尽くすことのできない法門を知り、

無上の仏道を成就することを誓う文言。（出典：天台大師『摩訶止観』）

次、奉送 **【声 明】**

唯願諸聖衆 決定證知我 各到隨所安 後復垂哀赴

唯願わくは諸の諸衆、決定して我を證知したまえ。各到って所安に
隨い、後に復哀赴を垂れたまえ。

<意味> 法要が終わり、來臨の三宝に各本土に還歸して戴く事を請う。

次、師衆退堂 笙・龍笛の演奏とともに式衆が退堂します。

次、講演（約二十分）

講師 吉崎俊三氏 鉄道安全推進会議（TASK タスク）会長

信楽高原鐵道列車衝突事故犠牲者遺族の会 世話人代表

次、挨拶 住職

結、閉式の辞

広濟寺について

広濟寺は近松門左衛門の菩提寺で、近松の墓碑は国定史跡に指定されております。

もとは禅宗寺院でしたが、元禄期の正徳4年（1714）に日蓮宗に改宗し、再興開山されたました。その開山に尽力した篤信者のなかに近松門左衛門がいました。近松門左衛門の墓碑は本堂東側にあります。江戸時代の広濟寺は妙見宮のお寺として大阪庶民の信仰を集め、明治の廃仏毀釈・神仏分離令までは繁栄します。広濟寺門前の東西の道は昔の有馬街道で大阪から有馬温泉へ通じる街道でした。

日蓮宗は身延山久遠寺を総本山とする宗旨で、宗教年鑑（文部科学省）によると日蓮系寺院数の約3 / 4が日蓮宗寺院です。日蓮正宗や創価学会とは別の宗派です。



江戸時代の広濟寺 『撰津名所図絵』より